

# 電池材料評価プロジェクト

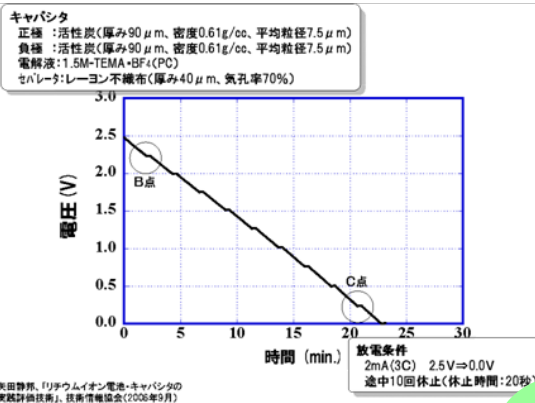
## 「電流休止法」※ による入出力評価

電池・キャパシタの最も期待される自動車用途ではその入出力特性が重要となります。入出力特性はデバイスの内部抵抗と直接関係しており、KRIでは新たな入出力評価手法として矢田が提唱した「電流休止法」による直流内部抵抗評価を実施しております。

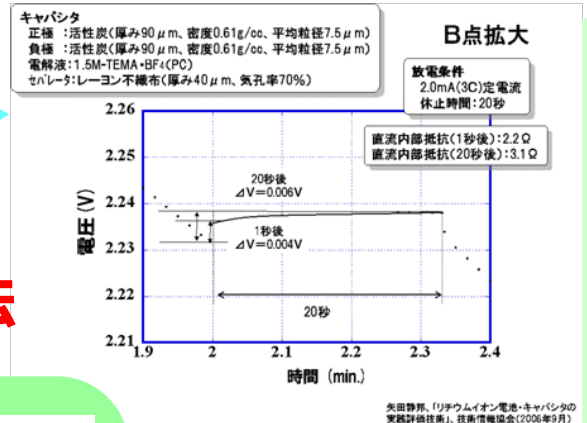
- 従来、個々に測定されていた充放電深度別・レート別入出力特性に対応可能な直流内部抵抗データを簡便に得ることができます。
- 「電流休止法」により得られる直流内部抵抗（電流休止法抵抗）の時間依存性解析により、レート別入出力特性を予測することも可能です。

※「電流休止法」参考文献: 矢田静邦、「リチウムイオン電池・キャパシタの実践評価技術」、技術情報協会（2006年9月）

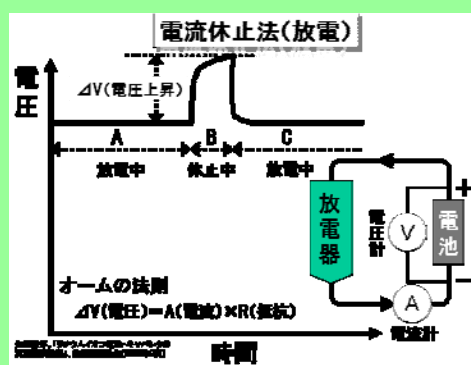
### 「電流休止法」測定データ



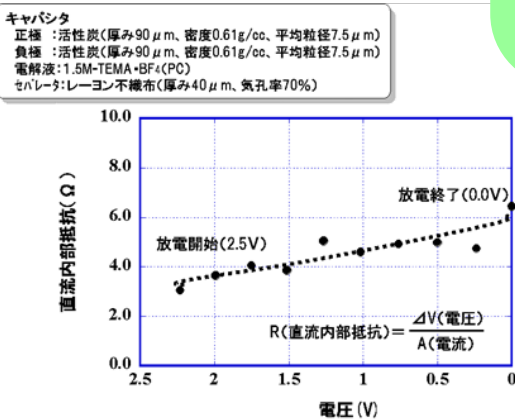
### 時間依存性解析



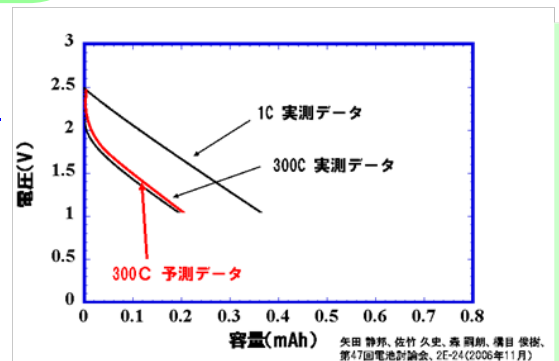
## 電流休止法



### 電圧依存性評価



### 入出力予測



## 直流内部抵抗解析 オーム成分 平衡成分 入出力予測

連絡先:

〒600-8813  
 京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク  
 株式会社 KRI エネルギー変換研究部  
 TEL: 075-315-9259 FAX: 075-315-9279  
[エネルギー変換研究部お問い合わせ\(メールフォーム\)](#)